

## 「2020年の新年を迎えて」



日本複合・防音床材工業会会長  
朝日ウッドテック株式会社  
代表取締役社長 海堀 哲也



明けましておめでとうございます。

旧年中は、当工業会活動に何かとご支援・ご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。本年も引き続き、よろしくお願い申し上げます。

さて私どもを取り巻く状況をみますと、外需および内需が低迷、加えて、消費税率引き上げの影響も続き、今後の国内景気は、不透明感が一層強まっています。住宅建設分野においては職人さんをはじめとする人手不足の継続、さらに台風による災害など取り巻く環境も依然深刻な状況にあり、会員各社個々の対策はもちろん、工業会としても着実にテーマを推進して、将来に向けた礎を築いていくという役割を果たしていかなければならないと思っております。

これに関し、現在、工業会において関連省庁・研究機関とも連携して進めている国産材の活用拡大、環境保全への対応などをしっかりと推進して、当業界への信用と発展に結びつけていきたいと思っております。

さて、昨年の工業会活動を少し振り返ってみます。

技術委員会・床暖房プロジェクトチームでは、前年度に引き続き、林野庁の補助事業を活用し、日本合板工業組合連合会のご協力を得ながら、オール国産材の基材による床暖房対応複合フローリングの技術開発に取り組んでいます。

具体的には、技術委員会の提案に沿って合板メーカーに作成いただいた国産材基材を用いて、工業会が複合フローリング試験体を制作し、昨年2月に策定した床暖房適合試験規格に基づいた検証試験を実施しています。検証試験結果を分析したところ、技術開発においてポイントとなる課題が整理できてきました。

本年も複合フローリングの国産比率50%の達成に向けて、会員の皆様のご理解のもと国産材基材を用いた複合フローリング開発を行っていく所存です。

広報委員会では、当工業会の会合における競争法遵守に係るガイドラインを作成いたしました。また、ホームページ「フローリング・ナビ」の中身の改善と充実にも引き続き取り組んでおります。具体的には、エンドユーザーに向けて、木質フローリングのメリットを訴求するページの新設について検討してきました。引き続き、業界情報の発信の核としてのホームページのブラッシュアップを図っていきます。

資材流通委員会では、当工業会が平成28年度より継続して取り組んでいる林野庁補助事業を活用した床暖房対応複合フローリングの技術開発の情報提供や、今年は東日本でも台風による甚大な被害がありました。昨年、西日本を襲った台風15号など自然災害に見舞われたこともあり、防災の意識を高めるために「津波・高潮ステーション」の見学会を実施しました。また、効率的な物流システムの関心から物流業界最大手のヤマト運輸グループの「関西ゲートウェイ」を見学しました。このように会員様の事業経営の参考となるべく、各種見学会を企画・開催しております。また、ご協力いただきました企業様には心より感謝申し上げます。

最後になりますが、会員各社・関係工業会・省庁を結ぶ工業会の役割は一段と重要になり、取り組むべき新しい課題も出てくると思っております。会員各社とともに、お客様に信頼され、床材の提供を通じて、お客様の暮らしを豊かにし、また地球環境にも配慮していくことで、新しい時代を乗り越える準備を進めていくことを誓い、新年の挨拶とさせていただきます。

本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。